



# 楽な経営で此数字

## 炭礦の苦しい現状

### 労働者側にも理解がある

石城の各炭礦が打撃不景八百の家族を養ふ労働者も  
氣と夏枯れに悩む惨憺たる現況ではないが居宅と燃料無  
る経営苦の對策に労働者の代で二十四燭の電燈を半額  
整理を餘議なくされてることを以て供給し諸機械費や電  
とは既報したが解雇者にも氣動力費から病院費及び役  
深き考慮を置いて永年勤続員職工給並に諸税負担其の  
による手當多額なも或は他の一切を四萬餘圓で遺縁  
家族數名の雇關係者の中  
から此の方針を取つてゐる  
ので會社側の苦境を知る勞  
働者にも諒解があり目下の  
ところ事實不穩の兆はない  
日頃に於ける炭礦の惨めな  
實況を上げれば比較的經營  
が楽と云はれる入山採炭の  
如き六月出炭決定二萬七千  
噸の中五、六千噸の貯炭と  
見て噸當五圓餘が約十萬圓  
で此の勞銀は

# 農銀負債の利子の

## 半額もない春蠶收入

### 三十日の汗の結晶が僅かに 二一十二圓の總勘定

石城地方に於ける春蠶は昨年に於て平町の支店からの  
今の出盛り期にも各市場共二百餘萬圓本店からの約  
に從來の如き活氣なく情氣三百萬圓を合計する五百萬  
圓の農銀負債に對する利子  
同地方本年の産額高は五千  
餘戸の蠶家によつて約十二  
萬貫と唱ひられ養蠶の最も  
多いもので百貫少なきは五  
六貫に過ぎない此の平均二  
二貫を賞當二圓二十錢と  
見て四十四圓の收入總額が  
二十二萬圓で之れが約三十  
日間の汗の結晶かと疲勞の常  
業者に哀れな願念を注がれ  
てゐるが右の收入は石城全  
村に於ける蠶家によるもの  
である

# 悪水豫防陳情

既報平町外二ヶ村新川水害  
豫防組合を縣費支辨川に編  
入を陳情のため組合委員數  
名は鈴木代議士と共に二十  
日出福縣當局に詳細陳情す  
ることとなつた。

# 多額議員資格者

## 平町で僅か四名

昨年より三名失格した

平町では六月一日現在で多額議員資格者を  
調査中であつたが漸く完了  
し十八日縣へ報告したが縣  
の調査標準直接國稅六百圓  
以上 従來八百圓以上であ  
つたものを不況のため今年  
は六百圓以上としたの納  
税者と見られるもの十七名  
につき調査したところ財界  
不況の影響により中には倒  
産者も數名を算へられその  
結果昨年は七名あつたもの  
が中野勇吉氏外二名が失格  
したため結局、諸橋久太郎  
山崎清三郎、百澤易興、堀  
江正茂の四氏だけが有資格  
者として報告された。

# 平同潤會協議

平同潤會では十八日午後七  
時から町會議事堂で協議會  
を開き今後の救済方針につ  
き打合せを行つた。

# 一家三名が

## 腸チブス

湯本町吹谷一、二植木職  
新妻甚藏長男周藏(二)長  
女キヌ(九)二女ツ子(七)  
の三名は十六日腸チブスと  
判明隔離されたが之は避病  
院の小使をしてゐる同人等  
の祖母キチヨが去月未腸チ  
ブスに罹つたがその消毒が  
不完全であつたためである  
尙平署では愈々傳染病期に  
入つたので近く管内一般に

# 一反歩で十石

## 錦村荒井氏の麥作

錦村荒井氏の麥作は  
役場對錦田試合 役場對  
日午前十時から發會式を舉  
げ午後三時から警中球場で  
紅白試合を行ふ。

# フアツシヨ團體

## 「全國民同盟」成る

松本氏により結成さる  
全國的にフアツシヨ機運が捨て、日本古來の皇道精  
漸次濃厚となりつゝある時  
東北方各都市に懸けて平  
町から早くもフアツシヨ運  
動の叫びが擧げられた。全  
國労働大衆黨石城支部長と  
左の如き綱領、主張を掲げ  
たいと、亦七年度には實現  
を遂げたいと、亦七年度に  
は過般支部長を辭任しその  
去就を注目されてゐたが果  
然十七日夜一切の無産運動  
に實現の陳情をなすこと、  
於て防空施設は急務中の急  
務と云はねばならぬ。

# 國土防空(三)

## 大問 生

此れ等によつて見ても將  
來戦ひに於ては空襲の危険  
あり國民の精神氣力に與ふ  
が如何に大であり防空の用  
意が如何に重大であるかの  
一端を窺ひ知ることが出來  
るのである、是れ「防空な  
禍は前獨帝の吐いた警告を  
の儘に現はれて開戦後にも  
なく文明文化の終局を來す

# 兩問題促進のため

## 代表者が當局へ陳情

上水道竣工式は結局來月末  
きのう上水道委員會で決定  
更に警備炭礦より願ひ出た  
平町地下採掘問題に關して  
は近く町會を開き最後の態  
度を決することに決定午後  
七時散會した。

# 日用品の値段

毎週土曜日掲載  
白米は中央市場に漸騰傾向  
あるが小賣相場には何の變  
動もない、木炭、砂糖、醬  
油類も前週とほぼ同様幾分  
下落氣配はあるが値段に變  
りなし、野菜物は何れも下  
落の一方でキウリ一本一錢五  
厘から二錢五厘、ナタ豆百  
粒一貫九錢などである

# 化を期す

主張 我等は使命貫徹の  
ため國民の總意を時局に  
反映せしめ積極的能動力  
を以て皇道即國民道の中  
間に介在する一切の政治  
化を期す

# 防空施設は急務中の急務

防空の效果、空襲によつ  
て被害が如何に甚大で  
段の發達に伴ふて之れを防  
はねばならぬ。凡そ攻撃す  
べきは、凡そ攻撃する手  
段が抜け目なく相對的  
に考へ出されて行くのが古  
來より動かない戦史上の眞  
理である。



稲の病害虫  
豫防と管理 (七)  
今後の管理 (七)

豫防と管理 (七)  
石城分場 伊藤技師  
第二回發生の幼虫は直接收量に影響し假りに影響が少なくないとしても品質に及ぼす損害は決して軽くないのである、夫れ故に此の第二回の幼虫驅除は即ち粘枯切取りは圃虫の驅除と同時に稲作の減收を防止する大切な仕事である。

近頃藥劑驅除と云ふことが大都流行して來て居る事は皆然と共に大に喜ぶべきことであるが高價の藥劑を二回も四回も撒布すると云ふ事は經濟上考ふべき事と思ふ若し藥劑撒布を行ふとすれば産卵の最盛期の後で大部分孵化を始めた頃に一回撒布することは面白いと思ふ硫酸ニコチンの八百倍だと孵化した幼虫は勿論孵化に近い卵は大部分死滅するし産付當時の卵でも藥劑が充分に附着すれば大部分は死滅する、次にネオトンが近時大部使用されるがこれも少し濃くして使用すれば相當に効果がある。浮塵子は稲の汁液を吸ふて大害を與へるばかりでなくこれは色々の病害の媒介をするので圃虫に次ぐ稲の大害虫である、殊に東北の

大飢饉は何時も此の浮塵子の發生と一緒に一緒である。

スペイン G.H.N 元 詰  
甘味葡萄酒  
ゴルフポートワイン  
1・10  
御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です  
(平二) 西村屋藥舖 (電三)

病淋・毒梅・科兒小・科外内  
**市原醫院**  
平町  
(番四一 一 話電)

**代理店新設**  
當地方に古き關係の深い而も業績のよい安心の出来る健實なる有鄰生命保險株式會社の代理店を引受けました何卒御利用の程を御願致します  
有隣生命保險株式會社  
平城北代理店 主幹 佐々木龍若  
附屬社員 志賀 寛

**本式の冷蔵器**  
製造元 丸ほん  
藤の園に遊ぶ様な食堂の裝飾を  
一覽下さいませ  
紫房ゆたかな微笑みと美しい女給のサービス  
カフエータバヒラ  
平 驛 前  
(電話六二〇番)

**お醬油は** ヤマフル  
醬油味噌  
たひら正宗  
鯉節食料品  
鹽屋  
**山崎合名會社**  
福島縣 山崎町 電話(本) 二七〇番  
代理店 山崎與三郎

東京石綿煙突  
永久 安全 美觀  
煙突は此れ  
焼けず 錆びず 腐れず  
仲町に洋服屋が出来ました  
工賃本位が弊店のモットー  
正確と迅速の追従を許さぬ勉強  
平町仲町一五番地  
最新流行 洋裝調製 **信天屋洋服店**  
店主 齋藤 一平

諸毒下りの大妙藥  
**安流丸**  
時山洋行 代理店  
平町 電話 三五二番

初夏サロンの新裝  
アイスクリーム (十五銭)  
タンク入りソーダ水 (十五銭)  
どうぞ御用命を  
山崎 電話 三五二番  
(男給見習數名募集)

大谷建材商店  
平 紺 屋 町

最新流行  
眼鏡類 値  
ユビワ 安  
各國時計 特  
**高橋時計店**  
平 町

安價で 効果的な **天然加里肥**  
最も適應する作物!  
蔬菜、馬鈴薯、里芋、しやうが類  
◇ 茄果類ではトマト、茄子の如き比較的病害に弱い作物に施用すれば抵抗力を與へ落果を防ぎます  
天然加里肥は酸性でないから如何に施用しても土壤を感變する虞は絶対にありません  
一俵三十錢 (大量取引は特に割引致します)  
製造販賣 **金成國雅**  
平 町 鎌 田

模範 裁縫  
夏服の御用命は **高島屋** へ  
高島屋へ  
**一新柄着荷**  
**高島屋洋服店**  
平町驛前 電話三八六番